

片山孤村 （おとせ） ドイツ文學者。明治十二年八月、一千九百山口縣生れ。昭和八年十一月十八日歿（一八九一—一九三三）。本名正雄。筆名孤村生。明治二十五年東京帝國大學文科大學獨逸科卒。第七高等學校、學習院各教授を務める一方、角田浩々歌客と比類詩論争を展開、次で自然主義批判の論文を續々と發表。四十四年ドイツ留學。歸國後、二高、二高教授を経て、大正十四年九州帝大教授となる。傍らドイツ語辭典編纂に従事。

譯著書、オットー・ワニンゲル著『男女と天才』（編、明治二十九年一月十五日大日本圖書株式會社）、『最近獨逸文學の研究』（明治四十一年十一月二十一日博文館）、『都會文圖拾林』（大正二年十一月十九日博文館）、『獨逸及獨逸人』（大正二年十月二十一日富山房『時事叢書』）、『現代の獨逸文化及文藝』（大正十一年九月十五日文献書院）、『最近の獨逸研究』（合著・表現社編、大正十二年一月十八日一松堂書店）、『現代獨逸文學觀』（大正十二年六月二十日京都・文献書院）、オットー・ワニンゲル著『男女と性格』（譯、大正十四年五月二十日人文會出版部）、『現代文學の諸傾向 評論』（本名、昭和八年四月五日岩波書店、岩波講座『世界文學』）、『片山正雄遺文』（九州帝國大學獨逸文學會編、昭和十八年二月二十日南江堂）等。